

〔日韓高校生交流キャンプ参加学生OBからのメール〕

ソン・ヒョンギさんからのメール

弊協会及び韓日経済協会が主催している日韓高校生交流キャンプの第13回（2009年7月28日～8月1日）に参加したソン・ヒョンギさんから協会宛てに一通のメールが届きました。翻訳したものをご紹介します。

こんにちは。僕は第13回日韓高校生交流キャンプと第7回日韓学生未来会議に参加させていただきましたソン・ヒョンギ(宋 鉉 冀)と申します。

この度は、感謝の言葉をお伝えしたく、このようなメールをお送りする次第です。

先日、2回目の日本旅行を無事に終えて帰国しました。

高校生の時に日韓高校生交流キャンプに参加していなかったら、海外旅行をするなど夢にも思わなかったと思う僕が、2回も隣国の日本を訪れました。

高校生交流キャンプを筆頭に、日韓交流の広場、日韓学生未来会議に参加させていただいた僕は、日本という国についての認識がガラッと変わりました。

それだけではなく、海外旅行などお金持ちだけが楽しむ富の象徴のように思っていた固定観念の塊だった僕に柔軟な思考をもたらしてくれたきっかけとなりました。

キャンプが終わってからも継続的に日本の友人たちと連絡をとっています。それぞれの

事情によりしばらく連絡が途切れたりもした時期もありましたが、5年が過ぎた今もなお親交は続いています。

2回の日本旅行で、出会った時より成長した友人たちと再会することができました。次に会う時は韓国語で会話ができるように韓国語を一生懸命勉強すると約束したまま、連絡が途切れてしまった友人がいましたが、3年後に、その時の約束を立派に果たして現れた人もいました。僕はまだ彼との約束を果たしていませんが、日本語の勉強を続けています。昨年、彼と会った時は、キャンプでの短い時間には共有しきれなかった様々なことについて知ることができ、感じることができました。彼は、とても自由な思考の持ち主だということに気付きました。政治外交学を専攻している彼は、日韓両国の関係や歴史問題についてとても深い関心を持っていました。一日という短いといえは短い時間ですが、お互いの考えや価値観を共有するには十分な時間を過ごしました。その時は、相手国の言葉が分からず真面に意志疎通ができなかった高校生の時とは違って、お互いに相手国の言葉で意志疎通を図りながら、密度の濃い話をするのが

できました。僕たちは、両国がお互いの国についてどのような共通認識を持っているのかについて、お互いの文化的背景を踏まえながら高いレベルの会話を交わしました。このような機会がなかったら、メディアや媒体など限られた方法でしか相手国について知ることができなかったと思いますが、様々な視点と広い視野を持ってお互いの国について理解を深めることができました。また、これまで事実だと信じ込んでいた多くのことが、実は歪曲されていたりねつ造されていたことに、改めて気付くことができました。

交流の広場で知り合った友人の一人とは、日本旅行の度に会って、中身の詰まった会話を交わしました。彼は交換留学生として韓国で暮らしたことがあり、韓国に対する理解が相当深いだけでなく、政治や経済、文化などについても深い知識をもっています。

彼と会って食事をしながらお互いの将来、未来について話をしてから、二次会に中華料理の居酒屋に移りました。そこで、日韓関係に深い興味をもっている会社員の方に出会いました。僕と友達が韓国語で会話をしているのを聞いて、日本語で韓国人ですかと聞いてきたのと同時に簡単に自己紹介をしてから、僕たちと一緒に両国の政治、経済について熱く語り合いました。これもまた一風変わった貴重な経験になりました。また、韓国に対する日本人の認識について新たな意見を聞くことができ、日本に対する僕の理解を深めることもできた良い機会になりました。

2回の日本旅行を通してたくさんのかを感じ、日本はさすがに先進国だなと感心しました。経済力だけではなく、市民の意識も非常に高く、とても親切でした。信号のない横断歩道では、運転者が歩行者に常に道を譲ってあげるのもとても印象的だったし、街にはゴミ箱もおいていないのにゴミひとつ落ちていませんでした。また、青信号で多くの人が道を渡っている時、救急車がサイレンを鳴らしながら近づいてくると、まるでモーセの奇跡のように横断者が足を止め、救急車が通れるようなスペースを作る姿が特に印象深かったです。

もう一つ新鮮なショックを受けたシーンがあります。動物園で人が集まって煙草を吸っている姿を見てびっくりしました。良く見ると、そこは喫煙エリアとして指定されている場所でした。それから喫煙エリアを注意深く観察して見るようになりましたが、喫煙エリア以外の場所で煙草を吸う人は一人も見当たりませんでした。喫煙者はみんな喫煙エリアでだけ煙草を吸っていたのです。また、喫煙エリアでも煙草の灰をあちこちに散らかさずに、必ず灰皿にだけ落としているのを見て、新鮮なショックを受けると同時に、色々考えるようになりました。

韓国では何年か前に、江南大路など人が多く集まるところを禁煙ストリートとして指定しました。しかし、日本は、煙草が吸いたいという本能も尊重しながら煙草を吸わない人への配慮も図るという一石二鳥なことができているようで心服すると同時に、そんな政策

が施行できている日本が羨ましく思いました。また、なぜ韓国ではそのようにいかないのか、もどかしい思いもしました。本能や欲望というのは、簡単に統制できるものではないので、どうせ統制できないなら、他の人の迷惑にならない程度でそれを尊重してあげなければならないと思うからです。

もう一つ、韓国では、他人の視線を避けるために、体の不自由な方はなかなか外出をしない傾向がありますが、日本は全く違いました。体の不自由な方のために、少しでも楽に生活ができるような設備を整え、定期的に点検を行っている様子を見て、日本が先進国だ

と言われる訳がちゃんとあるのだと思いました。

また、ユッケを食べて食中毒で死亡者が出る事件が発生したため、ユッケの販売を政策的に禁止してしまうのみで、韓国とは違って再発防止のためにとことん取り組む政府の姿勢に非常に感銘を受けました。

このような貴重な経験ができるチャンスを下さった日韓経済協会や韓日経済協会、日本の外務省、そして関係者の皆様に深く感謝いたします。

(金 侑 貞)

ソン・ヒョンギさんについて

- 名 前 : 宋 鉉 冀 (ソン・ヒョンギ)
- 【第13回日韓高校生交流キャンプ】 参加 (当時高校2年生)
 - ・期 間 : 2009年7月28~8月1日
 - ・場 所 : 韓国龍仁市「クムホアジアナ人材開発院」
- 【第1回日韓交流の広場】 参加
 - ・期 間 : 2011年12月23日~25日
 - ・場 所 : 韓国ソウル市「国際青年センターユースホテル」
- 【第7回日韓学生未来会議】 参加 (当時大学1年生)
 - ・期 間 : 2012年8月6日~10日
 - ・場 所 : 韓国ソウル市「ハイソウル・ユースホテル」